



# わたなべ正博 通信



わたなべ正博

検索

No.100

2013年11月

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

《部内資料》

## 【あなたの声が わたなべ正博 の出発点】

# 誠実にねばり強くをモットー にひき続き全力を尽くします

新上田市になり2期つとめてきました。この間のみなさまのご支援・ご協力にあらためて心より感謝申し上げます。

来年3月30日は、上田市長・市議会議員の改選です。ひき続き誠実にねばり強くみなさまの声を市政に届け、市民の声を生かす市政をすすめるために全力を尽くします。

ご支援よろしく御願ひ致します。

### 【住宅リフォーム助成制度】が実現

現在、産業・水道委員会の委員長として、農業、工業、商業、観光といった産業の振興について取り組んでいます。

グローバル化がすすむなかにあつて、東京への富の集中と地方の衰退があります。

「そのグローバル競争に左右されない個性あふれる持続可能な地域経済をどうつくるのか」を私のテーマにして、具体的提案を行ってきました。

2010年12月議会で「住宅リフォーム助成制度」創設を提案・・・実現しました。

結果、補助額1億円の12倍の工事が地域に生まれ、市民からも業者からも大歓迎され、地域経済の活性化につながりました。

### 中小企業は地域経済のかなめ

同時に、持続可能な地域づくりには、この地域の実情にあつた産業政策を地方自治体が持たなくてはならない時代だと考えています。地域経済の要の中小企業振興の理念を明確にした(仮称)「中小企業振興基本条例」制定を提案しています。

条例制定の条件として「当事者(事業者)たる皆さんのお考えも、すり合わせて検討をしまいたい」という市長答弁、長野県では来年度同条例を制定します。現在は、議会産業・水道委員会として事業者団体等と、積極的に懇談会を重ねています。

### 【提案型質問】を信条に… これから

いまあらたに「商店版リフォーム助成制度」創設を提案していま

す。持続可能な地域経済に欠かせないのが商業の活性化です。私は、毎議会欠かさず質問にたち「提案型」の質問に心がけてきました。

### わたなべ正博のノート

(1日現在)

- 1日 山田で訪問対話活動
- 2日 満蒙開拓平和記念館バスツアー
- 3日 下之郷9班親睦日帰り旅行(女神湖)
- 4日 浅間池代表会
- 5日 党市議団会議(予算要望検討)
- 6日 長和町議選「告示」応援
- 7日 真田町商工会と産業水道委員会懇談会
- 8日 共産党塩田西後援会辛煮会
- 9日 東信5市議員研修会
- 10日 地域振興講演会(塩田公民館)
- 11日 戦没者慰霊祭
- 12日 観光議員連盟講演会
- 13日 生活相談(生活保護)
- 14日 モルティー塩田街頭宣伝
- 15日 浅間池泥上げ
- 16日 上田駅前宣伝
- 17日 農政議員団幹部会議
- 18日 塩田地区福祉大会
- 19日 東塩田地区振興会役員会
- 20日 中小企業家同友会と産業水道委員会懇談会
- 21日 スポーツ議員連盟
- 22日 議会報告会打ち上げ会
- 23日 浦里へ
- 24日 陸前高田へ桜ライン16日まで
- 25日 浅間池水利費徴収
- 26日 民主団体と党市議団懇談会
- 27日 党市議団会議(予算要望検討)
- 28日 東塩田振興会行政懇談会
- 29日 12月議会質問準備(終日)
- 30日 党市議団会議(質問について)
- 31日 モルティー塩田街頭宣伝
- 12月議会開会
- 生島足島神社新穀感謝祭
- 議会機能強化特別委員会
- 上田市功労者表彰式
- モルティー塩田街頭宣伝

【11月】

## 学校給食の調理方式は「自校給食式」が望ましい

2011年6月7日、学校給食のあり方について、学校給食運営審議会の出された答申は、「調理方式については単独調理方式（自校式）とすることが望ましい」というものでした。

以降「答申を尊重すべきだ」と毎年一般質問で取り上げられました。

## 自校給食実施校の存続

現在、旧真田（小・中）、旧武石（小）は自校式給食を実施（当面継続）。

旧上田市は、川辺小と東塩田小、そして火災で焼失した浦里小（現在センター給食）で、他はセンター給食です。

私は、せめて現在自校給食を実施している所については「答申に添って自校給食を続けると表明すべきだ」と迫りますが、いまだに明確な方向を示しません。

## 自校給食ならではの特長を生かして

東塩田小学校は、地元の特長に加え関係する方々の好意で「松茸給食」が実施されています。

このような特徴ある給食が出来る条件は、自校給食ならではのことです。

## 次世代を担う子供たちを育む学校給食であること

第2給食センターの老朽化がすすむなかにあつて、小学校の自校給食への転換を求めていきたい。

「答申」は、次世代を担う子どもたちを育む学校給食であることを示しました。センター方式と自校方式を比べれば、自校方式がいいに決まっています。

東塩田小学校にこだわるのは、単に特定の学校ということではなくて、上田市全域の学校給食の今後の方向を決定づける要だからです。

## 国策に翻弄された 開拓団員らの苦難伝える

政治は 時として大きなあやまちを侵します



満蒙開拓団は大変な被害に遭いましたが、その被害を伝えるだけでなく、

8月15日を境にして、「やられっぱなし、うたれっぱなし」いままで使っていたが今度は使われる。しかし、我々も現地で土地を収奪した。そのことへの報復で、反省しなければならぬ。と話す「満蒙開拓語り部」の宮内三千雄さん。



「満蒙開拓平和記念館」へ わたなべ正博後援会でバスツアー (11/2)

現地の人たちの土地を奪っていったという加害者としての責任も認め、伝えていこうというものです。

Q:「共産党はなんでも反対」



A: そんなことはありません。

どんな課題でも、抜本的対案をしめしています。国会では、6割以上の法案に賛成しています。いいものには賛成するのが共産党です。

しかし、自民党の悪い政治に「なんでも賛成」するような政党ではありません。共産党は、国民の生活と平和をおびやかす法案には「ならぬことはならぬ」と立ちむかいます。

上田市議会でも先の9月議会では「24年度決算・25年度補正予算・議員定数削減・免税軽油制度の継続を求める請願」は、賛成し全会一致で可決。

「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願・国の責任による35人学級と教育予算の増額を求める請願」は、党市議団と他数人が賛成したが否決。

「羽田孜氏への名誉市民の称号」は、政治家は評価が分かれるのでふさわしくないとして党市議団のみ不同意・・・可決。また「新聞に消費税軽減税率適用を求める請願」は、消費増税が決まったわけではないことと、消費増税を応援したのは、大手新聞社であることを理由に党市議団のみの反対・・・可決。